

様式第7号(第7条関係)

公の施設事業報告書

令和元年5月31日

下妻市長 様

所在地	茨城県下妻市数須140番地
名称	株式会社ふれあい
代表者氏名	代表取締役 菊池
電話番号	0296-30-5294

下妻市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第11条の規定により、次のとおり平成30年度事業報告書を提出します。

- 1 公の施設の名称
ピアスパークしもつま
- 2 管理業務の実施状況
別紙参照願います。
- 3 利用状況及び利用拒否等の件数・理由
別紙参照願います。
- 4 使用料又は利用料金の収入実績
別紙参照願います。
- 5 管理経費の収支状況
別紙参照願います。
- 6 その他

1、管理業の実務状況

ビアスパークしもつまにおいては、社内イベントの他に下妻地ビールを看板商品として各地のイベントに積極的に参加してまいりました。また、猛暑・酷暑・残暑が厳しい夏季期間、テレビ報道では外出を控える報道もあり高齢者の利用者少なく施設全体の売上も低迷する事となりました。秋口から集客増加策として「しもつま温泉感謝フェア」を企画して新しい角度で施設PRをする他、従業員全員がセールスマンとして優待券配布の他、道の駅しもつまに協力依頼し出荷組合員の方をはじめ取引業者へ温泉優待券の配布等も実施いたしました。

《温泉部門》

5月につくば市に温泉施設が開業、その後猛暑が日本列島を襲い外出を控える内容の報道の影響もあり利用者数は減少となりました。また、新しいイベントとして11月に「しもつま温泉感謝フェア」を開催いたしました。開催日は第2土日、第3土日の計4回と平日の4日間を対象にいたしました。内容として「お楽しみ抽選会・歌謡ショー・レストランフェア・大広間麺料理フェア・家族風呂割引・温泉平日4日間限定500円ディ・スイーツ祭り・特売品販売」の他に各種割引カードのご案内(JAFカード・SDカード・いばらきキッズカード他)、宿泊施設、ご宴会料理、温泉浴槽の種類のご案内等を新聞折込広告として5万世帯に配布いたしました。その理由として、もう一度賑やかな温泉施設にしたいための願望もあり実施いたしました。また、温泉水販売専門業者から昨年8月「温泉水」の購入依頼があり当社の温泉水をタンクローリーに注水し、他のビジネスホテルや介護施設に利用され毎月20万円前後の売上増加となりました。年度末3月については、利用者数が前年度を4,000人も増え活気のある最後の月となりご利用された方に感謝申し上げます。

来場者数は151,268人となり、前年度比10,011人の減少となりました。(前年対比率93.7%) 売上高69,919千円となり、前年度比3,706千円の減少となりました。(前年対比率95.0%)

《ホテル部門》

ネット予約販売は好調であります。5月～7月までの期間は利用者が少なく低迷となりました。夏は砂沼サンビーチを利用されるお客様や国体のプレオープンもあり賑わいを見せ近年は冬季期間、春季期間等は高校生の部活の宿泊施設として利用が高くなっておりました。

宿泊利用者数は8,663人となり、511人の減少となりました。(前年対比率94.4%)

売上高62,178千円となり、前年度比5,802千円の減少となりました。(前年対比率91.5%)

《レストラン部門》

毎月第三日曜日開催「ランチバイキング」は少し高めの料金設定ですが内容が良いと評価でリーズナブルな感がありリピーターの方、初めて利用された方からお褒めの言葉をいただきました。施設全体の利用者が少ない事や忘新年会等の少人数宴会利用が大半となっており飲食部門は厳しい一年となりました。

売上高71,940千円となり、前年度比7,449千円の減少となりました。(前年対比率90.6%)

《地ビール部門》

ビアスパークしもつまの看板商品の「下妻地ビール」は今年度様々なイベントに参加させていただきました。プロ野球イースタンリーグ戦、祭りつくば、自衛隊駐屯地、筑西駅付近商店街、市内、都内、ビアフェスへの参加、なかでもロックインジャパンでは4日間で147樽販売をいたしました。地ビールを販売しながらビアスパーク、道の駅の宣伝も実施いたしました。

売上高14,444千円となり、前年度比832千円の増加となりました。(前年対比率106.1%)

《農産物直売所》

出荷組合の皆様の応援もありロビー売店は品揃いも豊かになり利用者に喜ばれました。昨年11月には初の試みで道の駅しもつまでの成功事例「スイーツ祭り」を和菓子中心で開催したところ予定数を完売することが出来ました。年度末3月は在庫調整もあり思うような販売実績を出すことが出来ませんでした。

売上高14,288千円となり、前年度比2,454千円の減少となりました。(前年対比率85.3%)

2、利用状況及び利用拒否権の件数・利用拒否の件数・理由

(1)

各 売 場	利 用 者 数
温泉利用	151,268 人
ホテル利用	8,663 人
レストラン	59,713 人
農産物直売所	34,509 人
体験農園	0 人
バーベキュー	4,058 人
研修施設	7,158 人
その他	958 人
合 計	266,327 人

(2)利用拒否等の件数

拒否件数 0 件

3、使用料又は利用料金

	収入実績(単位：千円)
温泉利用	69,919
ホテル利用	62,178
研修施設	636
バーベキュー	1,680

4、管理経費の収支状況

公の施設に係る収支状況報告書(平成 30 年度)

単位：千円

	科 目	予算額	決算額	比率	
収 入	ビアスパーク売上高	276,700	241,139	87.1%	
	収入合計 (A)	276,700	241,139	87.1%	
支 出	売上原価 (B)	70,309	59,596	84.7%	
	販売費及び一般管理費 (C)	269,000	291,800	108.4%	
	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 内 訳	人件費	120,000	136,378	113.6%
		広告宣伝費	2,800	3,267	116.6%
		販売促進費	13,000	13,480	103.6%
		水道光熱費	48,000	49,499	103.1%
		備品・消耗品費	13,000	13,896	106.8%
		リース料	3,500	6,157	175.9%
		保険料	4,300	4,305	100.1%
		保守修繕費	6,500	7,483	115.1%
		租税公課	3,000	2,938	97.9%
		減価償却費	7,000	6,638	94.8%
		接待交際費	600	130	21.6%
		通信費	1,600	1,775	110.9%
		支払手数料	3,000	4,619	153.9%
		車輛修繕・燃料費	800	710	88.7%
		管理諸費	3,600	3,101	86.1%
		施設管理委託費	30,000	29,166	97.2%
		クリーニングリネン	7,600	7,712	101.4%
		その他	700	546	78.0%
		支出合計(B)+(C)=(D)	339,309	351,396	103.5%
収 支	(A) - (D) = (E) 【営業利益】	-62,609	-110,258		
営 業 外 収 益	(F)	63,000	66,030	104.8%	
営 業 外 費 用	(G)	500	44	8.8%	
経 常 利 益	(E) + (F) - (G)	-109	-44,272		
特 別 損 失	(H)	1,100	7,376		
当 期 純 利 益	(G) + (H) = (I)	-1,209	-51,649		